

公益社団法人 私立大学情報教育協会
平成 23 年度 第 7 回 CCC 数学グループ運営委員会 議事概要

- I. 日時 : 平成 24 年 1 月 30 日 (月) 17:00~18:30
- II. 場所 : 公益社団法人 私立大学情報教育協会 事務局会議室
- III. 出席者: 平野委員(司会)、山崎委員 (ネット参加)、井川委員 (記録担当)、
(事務局) 井端事務局長、森下主幹、平田職員

IV. 検討事項

1. 学士力の実現に求められる教育改善モデルにおいて、授業の提案だけではなく、それをどのように点検・評価し、改善していくのかについても言及してほしい旨、本協会理事会から要請があったことを受けて、前回委員会でとりまとめた「数学における教育改善モデル (その 1) および (その 2)」の項目に、「3. 授業の点検・評価・改善」を追加することを事務局から説明された。

具体的には、「2. 授業デザイン」における「2.1 授業のねらい」および「2.2 授業のしくみ」が機能しているかどうかを点検・評価し、モデルにはその方法を記述することにした。また、これまでの項目「3. 運営上の問題及び課題」は、「4. 運営上の問題及び課題」に変更することを確認した。それぞれのモデル案についての検討内容は、次のとおりである。

(1) 数学における教育改善モデル (その 1) について

- ・本モデルは、教養レベルを前提に、学びの動機付けとして、社会生活の中で数学の役割を理解し、社会で役立つ数の基礎的な概念と計算能力を身に付けさせることを目指し、ネット上で学習の場を提供する他に、数学担当教員と他の科目の教員が連携して実施するという提案であるため、授業の点検・評価については、他の科目の教員による評価が必要であることを確認し、「数学担当教員と専門基礎科目の教員が連携して作成した教育計画について、客観的に評価できる評価シートをもとに共有し、定期的に点検・評価を行う。」とした。
- ・また、授業の改善については、数学担当教員や専門基礎科目の教員による改善にとどまらず、より中立的な立場からの意見をとりいれた改善方法を検討することとした。また、数学担当教員と他の科目の教員とが内容ごとに分担して改善していくことも必要であることを確認した。したがって、モデルには、「また、学協会、団体のコンソーシアム等を通じて、中立的な立場からの示唆的な意見も取り入れながら、各教員が役割分担して改善の方法を検討する。」と追加した。

(2) 数学における教育改善モデル (その 2) について

- ・本モデルは、専門教育での基礎レベルを前提に、自然・社会現象の中の問題を具体化し、数理的表現を身に付けることを目指し、連携授業や学習ポートフォリオを活用するという提案で、授業の点検・評価については、数学を活用する各専門分野の教員の評価が必要なことから、「数学担当教員と数学を活用する他分野の教員が、専門分野で数学を活用する能力が身に付いているか意見を共有し、定期的に点検・評価を行う。」とした。
- ・また、授業の改善については、モデル (その 1) と同様に、当事者である教員自らによる改善にとどまらず、より中立的な立場からの意見をとりいれた改善方法を検討することとした。したがって、モデルには、「また、学協会、団体のコンソーシアム等を通じて、中立的な立場からの示唆的な意見も取り入れながら、数学教員が授業を振り返り、改善の方法を検討する。」と追加した。

2. 今後の検討スケジュール

- (1) 今年度は今回の第 7 回で終了である。

(2) 次年度（平成 24 年度）は、本モデルの授業を実現するための「教育改善モデル実現のための教員の教育力について」まず検討し、その後、モデルを冊子として提言するために、骨子のモデルに説明文章や授業の例示、イメージ図・表、などを追加していくことを確認した。

3. 次回委員会

次回、次年度（平成 24 年度）の開催日時は、改めて日程調整した上で決定する。